静物を描く

年	組

Ⅰ 身のまわりのものを組み合わせ、下段の枠に静物画の下描きをしましょう。

(1) 身近にあるものをモチーフとして使いましょう。布製のもの、金属製のもの、ガラス製のもの、青果物（野菜や果物）や花などを机の上に配置しましょう。

(2) モチーフの組み合わせ方、配置、重なりなど、画面の向きや大きさによっても仕上がりの雰囲気が変わってきます。画面の構成を工夫しましょう。

(3) 視点の高さやモチーフを見る方向を定め、鉛筆でスケッチしましょう。

(4) 制作の途中で席を離れ、モチーフと作品を遠くから観察して画面の配置やバランスを確認しましょう。

Ⅱ **Ⅰ**で描いた下描きに、自分の描きたい雰囲気を表現するために適した描画材料を選び、着彩しましょう。

(1) 色鉛筆、クレヨン、ペン、水彩絵の具（透明水彩・不透明水彩）、アクリル絵の具など、着彩に用いることができる描画材料はさまざまです。自分の表現したい主題や、空気感が表現できる描画材料を選びましょう。

(2) モチーフの光が当たっている部分を観察し、画面のどの方向から光が差しているのか、明暗やモチーフの濃淡を意識して、着彩しましょう。

(3) モチーフの質感を表現するために、光の入り方や、筆のタッチや水分量、鉛筆の筆跡などを工夫しましょう。

使用したモチーフ［　　］　使用した描画材料［　　］